

講義名	対)卒業研究		
講義コード	14401	授業形態	開講期・曜日・時限 通年 月曜日 4時限
担当教員	山口 泰雄	備考	
学部・学科	演習分野		
人間社会学部・人間健康学科	スポーツビジネスおよびスポーツ組織論		
概要説明			
<p>スポーツビジネスおよびスポーツ組織論において、関心のあるテーマを選択し、テーマに関連する先行研究や関連文献・資料等のレビューを行う。毎回の演習においては、研究論文や関連資料の抄読会を実施する。</p> <p>消費会において使用するPTにおいて、研究目的や研究の意義、研究方法、主要な研究結果と考察、研究の課題と感想をまとめ、プレゼンを行う。</p> <p>先行研究のレビューが完成してから、テーマに関するインタビューや調査、フィールドワークによるデータ収集を行う。収集したデータ分析と内容分析により、オリジナリティのある成果を導く。</p>			
主な卒業論文のタイトル			
<ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツ観戦における知覚経験が再観戦意図に及ぼす影響」 ・「プロスポーツにおける女性観戦者の感動に関する研究：野球観戦者に着目して」 ・「身体障害者野球の実施における促進要因・阻害要因に関する研究：神戸コスモスに着目して」 ・「高校運動部員の部活動継続動機と部活動ストレスが継続意図に及ぼす影響」 ・「オリンピック選手の競技引退後のセカンドキャリアに関する研究：セカンドキャリア決定者に影響を与えた要因に着目して」 ・「中高年者の運動実施の促進要因・阻害要因に関する研究：テニス実施者に着目して」 ・「保護者のスポーツ・コミットメントが子供の体力に及ぼす影響に関する研究」 ・「目的地の魅力が観光動機に及ぼす影響に関する研究：サイクリストに着目して」 ・「スポーツスポンサーシップへの投資における企業の意思決定プロセスに関する研究：神戸マラソンのケーススタディ」 			
教員よりの要望			
卒業論文は、先行研究のレビュー、明確な研究目的と研究方法により、オリジナルの研究成果を求める。それゆえ、コピー&ペーストによる執筆は卒業論文と認定されない。地道な努力の積み重ねによる、オリジナリティのある卒業論文に期待したい。			
選考方法			
研究プロポーザル(研究テーマ・研究目的・研究の意義・研究方法)のプレゼンにより、選考する。			

評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> ・以下の項目を総合的に評価する。 「先行研究のレビュー、研究目的、研究意義の明確さ」 「研究方法の妥当性と信頼性」 「主要な研究結果」 「結論の妥当性と的確性」 「研究の限界と課題」 	
教員英字氏名	研究室
YASUO YAMAGUCHI	5416室
最終学歴	
カナダ・ウォータールー大学大学院博士課程修了。	
学位	
Ph.D.(学術博士) University of Waterloo, Canada	
主な研究活動・社会活動・研究業績	
<p>現在の研究テーマ：EUにおけるスポーツの統合・インクルージョン政策に関する研究</p> <p>論文・「スポーツツーリズム」単著 2020.3(改訂版) ナカニシヤ出版 観光学ガイドブック 大橋正一・橋本和也等編 212-215</p> <p>・「スポーツ・ボランティア」単著 2020.3(改訂版) ミネルヴァ書房よくわかるスポーツ文化論 井上俊・菊幸一編 著 124-125</p> <p>・中央競技団体における障害者スポーツの統合・インクルージョン指標の構築：OCISステージを用いて、共著 体育学研究, 65(1):383-400, 2020</p> <p>・東京オリパラ2020と私たちの健康 単著 TOYRO BUSINESS 2020.4 p.1</p> <p>・「健康」「経済」「統合・インクルージョン」をキーワードに広がるスポーツの可能性 単著 KOBE x SPORT スポーツ産業のこれから 神戸商工だより vo.776 20-21</p>	
趣味・特技	
・テニス、読書、音楽鑑賞	
所属	
・流通科学大学人間社会学部人間健康学科	
所属学会	
・日本生涯スポーツ学会(顧問)、日本スポーツ社会学会(顧問)、日本体育学会(評議員)、兵庫・体育スポーツ科学学会(顧問)、国際スポーツ社会学会	
専門分野	
スポーツ社会学、生涯スポーツ論、スポーツビジネス	
担当科目	
・スポーツビジネス論、健康・スポーツ関連企業分析、スポーツ文化論、スポーツ組織論、専門基礎演習、研究演習、教養基礎(人間健康学科へのいざない)	
備考	
実務経験の有無及び活用	